病　院　だ よ り

令和７年 10 月号　第 455 号

昭和医科大学病院　検索

昭和医科大学病院附属東病院　検索

発　行　昭和医科大学病院、東病院
発行責任者　昭和医科大学病院長　相良 博典
編集責任者　広 報 委 員 長　山岸 昌一

〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
ＴＥＬ：03-3784-8000（代表）

就任のご挨拶　昭和医科大学病院　心臓血管外科　山口（やまぐち）　裕己（ひろき）

2025 年４月に昭和医科大学病院心臓血管外科教授に就任いたしました。

私が昭和医科大学に入職したのは 2014 年４月、昭和医科大学江東豊洲病院の開院時に循環器センター長、心臓血管外科教授として着任した時ですが、2023 年４月から私のチームが２つに分かれ昭和医科大学藤が丘病院の心臓血管外科も担当するようになりました。この２年間で分かったことは病院間の横の連携を取ることが最も有効かつ効率よくチームを強化することに繋がるということです。良い外科医を育てるためには、より多くの症例を経験することが重要です。若い心臓血管外科医たちが逞しく成長する姿を見て、より大きな連携を構築することが将来の昭和医科大学病院の心臓血管外科を強化するために必要であると考え、この度、昭和医科大学病院に参りました。今後ともよろしくお願いいたします。

＜プロフィール＞

1962 年（昭和 37 年）広島県生まれ。修道高校、広島大学医学部を卒業後、1987 年岡山大学第二外科に入局。1995 年から 1997 年まで米国メーヨークリニックにリサーチフェローとして留学。1999 年から 2004 年まではニュージーランド国グリーンレーン病院（現在のオークランドシティ病院）に留学しスタッフサージャンとして 900 例あまりの心臓胸部外科手術を執刀。2004 年から 2014 年まで千葉県の新東京病院で心臓血管外科主任部長として 3,000 例を超える手術を執刀。2014 年に昭和医科大学江東豊洲病院の開院と共に循環器センター長、心臓血管外科教授としてその立ち上げ・発展に注力してきた。

＜座右の銘＞

至誠通天：「至誠天に通ず」
まごころをもって事に当たれば、その真心は天に通じる。

＜趣　　味＞

ゴルフ、マラソン
（東京マラソンは 2017 年より８回連続完走中）

＜今後の展望＞

前任者の青木 淳教授が展開された経カテーテル的大動脈弁移植術（TAVI）や動脈瘤に対するステントグラフト内挿術（EVAR, TEVAR）などの低侵襲心臓血管外科手術をさらに発展させるとともに、これまで私の 6,000 例余りの執刀経験からすべての後天性心疾患（虚血性心疾患、弁膜症、大血管、不整脈）の分野に世界水準の外科治療を提供します。特に小切開僧帽弁形成術（MICS）をはじめとした心臓弁の形成術を最も得意とします。私がこれまで行ってきた、患者さんの手術後遠隔期の QOL を重視した抗凝固薬を長期に必要としない心臓弁膜症手術、すなわち“ワーファリンフリーの心臓弁膜症治療”を展開していきます。“ワーファリンフリーの心臓弁膜症治療”を行うには、①自己弁を温存修復し、②生体弁を使用し、③心房細動をメイズ手術で治療することが必要です。これらの弁形成術、不整脈手術を最も得意としています。

外科医不足といわれている昨今、また同時に重要視されている働き方改革を実現しながらも、より多くの症例を経験してよい外科医を育てていくためには、限られた人材を最も効率的に配置しチーム全員で協力しながら仕事をする必要があります。このためには昭和医科大学の各病院間の横の連携を強化することが最も有効と考えています。オール昭和体制で将来の昭和医科大学病院心臓血管外科のために尽力いたします。

羽ばたけ期待の医療人　No.64「臨床工学技士」

今月は「1 年目　臨床工学技士」の小畑　歩生（おばた　あゆみ）さんをご紹介いたします。

臨床工学技士
【小畑 歩生さん】

臨床工学技士を目指した理由を教えてください。

父が医療従事者であったことから、幼い頃より医療に触れる機会が多く、次第に人の命を守る仕事に就きたいと考えるようになりました。そうした中で、自分の得意とする工学分野を活かせる職業として臨床工学技士を知りました。工学的な視点から患者さんの治療を支えることができる点に大きな魅力とやりがいを感じ、志すに至りました。

現在、どのような業務をしていますか。

昨年よりタスクシフトの一環として始まった手術室での器械出し業務や、手術室や ICU で使用される機器の点検業務を担当しています。さらに、医療機器メーカーによる勉強会に積極的に参加し、最新の知識を取り入れることで、円滑で安全な機器運用を実現できるよう取り組んでいます。

今後、どのような臨床工学技士を目指しますか。

私は、変化の激しい医療現場にも柔軟に対応できる臨床工学技士を目指しています。近年、AI を活用した診療支援技術やロボット支援手術など高度な医療機器の導入が進み、臨床工学技士の役割は一層重要になっています。常に最新の知識や技術を習得し、現場で活かすことで安全かつ質の高い医療の実現に貢献したいと考えています。

お知らせ　10 月 13 日（月・祝）の診療体制について

令和 7 年 10 月 13 日（月・祝）の外来診療は以下の通りとさせていただきます。
患者の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

対象日	診療状況	
	外来	救急外来
令和 7 年 10 月 13 日（月・祝）	**臨時診療** **【内科系】・【小児科】** 8：30～17：00	救急診療は 通常通り実施します。

※臨時診療日は人員を縮小しているため、専門医による診療を提供できない可能性があることを予めご了承ください。
※臨時診療日は、休日加算および時間外選定療養費（注）（8,800 円）を徴収いたします。
（注）紹介状持参、当院かかりつけで予め来院指定の患者さんは時間外選定療養費の徴収はありません。

トピック　令和７年度防災訓練が行われました

令和７年度９月21日(日)に、昭和医科大学病院・昭和医科大学病院附属東病院において防災訓練が実施されました。本訓練は、東京都より指定されている災害拠点病院としての役割（災害発生時に２４時間体制で被災した傷病者を受け入れる役割など）を担うべく、災害時の初動等に重点をおいて実施されているものです。今回は震度５強の地震が発生したことを想定して行われました。

病院長が本部長となり、災害対策本部が設置され、院内外の情報収集や模擬患者の初療対応などの訓練を実施いたしました。

昭和医科大学病院だけでなく、昭和医科大学法人部門・品川区との連携訓練や、町内会・荏原消防署・荏原医師会の方々にもご参加いただくなど、多くの方々にご協力いただき、有意義な訓練を実施することができました。

また今回は、地域との連携を強めることを目的に、当院の取り組みを院外へ発信するべく、品川ケーブルテレビにも取材にお越しいただきました。（放送日は未定のため、決定次第、改めてお知らせさせていただく予定です。）

今後も、災害拠点病院の役割を果たすべく、万一に備えて万全の態勢を整えてまいります。

当日の様子

トピック　旗の台一丁目の祭禮に参加しました

９月27日（土）に旗の台一丁目町会の祭禮が開催され、当院からは相良病院長も参加し、神輿を担ぎ、地域の方々と交流を深めました。この祭禮は、東急大井町線荏原町駅近くにある旗岡八幡神社で、毎年９月に行われる例大祭に合わせて行われるもので、近隣の町会も参加し一斉に神輿を担ぎ地域の安全を祈願しています。

今後も地域交流を大切にし、地域に密着した病院づくりに努めていきます。

トピック　当院の職員が救急業務功労者として表彰されました

９ 月 26 日（金）、当院の職員が救急業務功労者として荏原消防署より表彰されました。

この表彰は例年、９月９日の「救急の日」に関連して、荏原消防署より昭和医科大学病院の救急業務に従事している医療関係者に感謝状が贈られるものとなっております。

今年度は、救命救急科　医師　菊地一樹、救命救急病棟　看護師　坪山裕史、救命救急病棟　看護師　加藤和佳の計３名に感謝状が贈られました。

左から看護師　加藤和佳、医師　菊地一樹、看護師　坪山裕史

お知らせ　医師の配属・異動・退職について

新規配属

新規採用（令和７年 10 月１日付）

●小児科　磯野　るり　●呼吸器・アレルギー内科　能條　眞　●放射線治療科　関本　篤人

異動

学外施設へ（令和７年 10 月１日付）

●救命救急科　岩本　泰樹、町田　麻美　●形成外科　小笹　俊彦　●産婦人科　岡本　ひなの、齋藤　香奈子、長尾　茉依、矢野　智子、兼松　智恵子　●耳鼻咽喉科　竹内　美緒、大谷　友里恵　●脳神経外科　田中　翼　●泌尿器科　中村　紗緒里　●循環器内科　蜂矢　るみ、髙井　優希　●血液内科　長尾　和紀　●消化器・一般外科　大浦　敬介、宮坂　俊、藤森　聰、草野　智一、内田　祐介、松根　佑典、田口　祐貴、田中　美花、出口　一紀　●消化器内科　山﨑　裕太、北村　健哉　●小児科　大木　真穂　●整形外科　山名　輝、豊田　仁志、土田　平蔵、宮永　悠聖、山本　雄介、髙木　涼介　●皮膚科　望月　ルカ、三浦　淳　●糖尿病・代謝・内分泌内科　黒川　育朗　●乳腺外科　内田　佳菜子、横井　詩織　●脳神経内科　中西　達彌、鈴木　絢子　●リウマチ・膠原病内科　高橋　克典

（令和７年 10 月１日付）

●腫瘍内科　石黒　智之

お知らせ

医師の配属・異動・退職について

異動

附属施設へ（令和７年10月１日付）

●救命救急科　武井　稔弥、飯島　章子、佐久間　佑希、深見　彩音　●産婦人科　馬場　彩穂里、山田　理以奈、小野　有紀子、松本　理穂、山野邉　雛子　●耳鼻咽喉科　小川　誉史、宮地　理瑳、島津　春香　●集中治療科　関谷　健　●小児科　立石　彩、伊藤　愛　●循環器内科　半田　直、鈴木　芳和、小柳　唯　●心臓血管外科　髙橋　祐貴　●整形外科　樋口　郁美、財津　弘毅、土師野　良真、安部　崇子、瀧澤　美紗子、瀧澤　美紗子、池上　さゆり、千歳　修司、中西　俊介、眞許　一樹、相馬　芽唯、田村　梨々花　●糖尿病・代謝・内分泌内科　志村　浩平　●脳神経内科　石田　敦士、河西　美弦　●泌尿器科　道口　彩菜、麦田　稔貴、菊地　翔大、渡邊　裕彦　●皮膚科　井上　華那　●放射線科　北川　嵩之、大﨑　駿　●リウマチ・膠原病内科　平　菜月　●リハビリテーション科　吉田　百合香、野村　花江　●麻酔科　福羅　怜奈

学外施設から（令和７年10月１日付）

●呼吸器・アレルギー内科　佐藤　奈緒　●救命救急科　須郷　加奈子　●産婦人科　山田　理以奈、パク　コウエイ　●耳鼻咽喉科　村山　正和　●循環器内科　上野　倫平、鈴木　芳和、横川　大介、織田　彩花、甲斐　陽介　●糖尿病・代謝・内分泌内科　西原　澄芳　●消化器・一般外科　風間　慎太朗、吉田　尭生、平井　隆仁、武井　稔弥、山崎　達也、内藤　健、石井　美凪、髙木　祐希、齊藤　和彦　●消化器内科　大西　良尚　●小児科　吉田　華栞、関谷　健　●整形外科　井田　寛、小澤　静香、神薗　育、石田　憲太朗　●乳腺外科　山下　愛理　●脳神経外科　長塚　大騎　●脳神経内科　石田　敦士　●泌尿器科　道口　彩菜、渡邊　裕彦　●皮膚科　山浦　真衣子　●救命救急科　飯島　章子　●小児科　板垣　日向子　●整形外科　小野寺　洋介　●産婦人科　田中　紗英子

附属施設から（令和７年10月１日付）

●救命救急科　井上　嵩章、佐久間　結菜、嶋津　宏基、下崎　優花　●産婦人科　木下　佳奈、塩﨑　なつの、藤本　理世、蜂須賀　愛　●耳鼻咽喉科　河村　陽二郎、鍋山　新　●消化器・一般外科　石井　美凪、石川　友伽　●小児外科　楮佐古　花波、入江　美波、岩澤　楽、小田　祐哉、榊原　令華、鈴木　拓巳、富樫　和貴、宮本　真衣、田中　潤　●放射線科　山本　紗季帆、中口　美央、府瀬川　浩佑　●麻酔科　栗原　葉子　●リウマチ・膠原病内科　六角　連　●腎臓内科　堀口　花実　●リハビリテーション科　金子　由実

退職

令和７年９月４日付

●麻酔科　福澤　光歩

令和７年９月30日付

●産婦人科　大森　麻綾、原澤　孝綱、脇坂　昌平　●消化器内科　阿部　正洋　●整形外科　齋藤　創造　●脳神経外科　飯塚　一樹　●麻酔科　小圷　薫子、竹内　舞、細川　麻衣子、頴川　陽子　●糖尿病・代謝・内分泌内科　井上　彩

トピック

サンクス！グッドプラクティスパートナー（第 62 回）

当取り組みは、昭和医科大学病院・附属東病院において関係職種間での行動（臨床に関する事項）を相互にプラス評価することにより、関係部署との連携を良好にし、チーム力を高めることで患者さんにより良い医療を提供することを目的としております。

看護部から栄養科へのありがとう！

水野管理栄養士へ

患者さんの嗜好や、食事内容を把握し、医師と連携しサポートしてくださります。迅速に栄養指導の必要な患者さんに指導してくださります。

【患者さんに与えた良い影響】

入院中の患者さんの食事が安全に提供されています。また、退院後の食事の不安がなく安心を提供できています。

小川管理栄養士へ

コア NST で栄養管理が必要な患者さんに適切なアドバイスをいただいております。患者さんの栄養を医師と連携しサポートしてくださります。

【患者さんに与えた良い影響】

栄養管理が困難な患者さんに適切な栄養管理が行えています。患者さんに安心、安全な療養環境を提供できています。

リハビリテーション室から医師へのありがとう！

循環器内科　木庭　新治先生へ

心臓リハビリテーションの教育をしていただけた。

【患者さんに与えた良い影響】

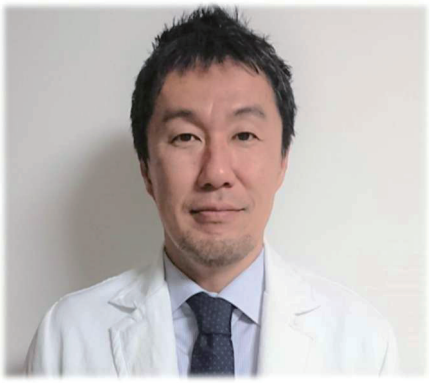
適切なリハビリテーションの提供をした。

整形外科　吉川　泰司先生へ

股関節のリハビリテーションの教育をしていただけた。

【患者さんに与えた良い影響】

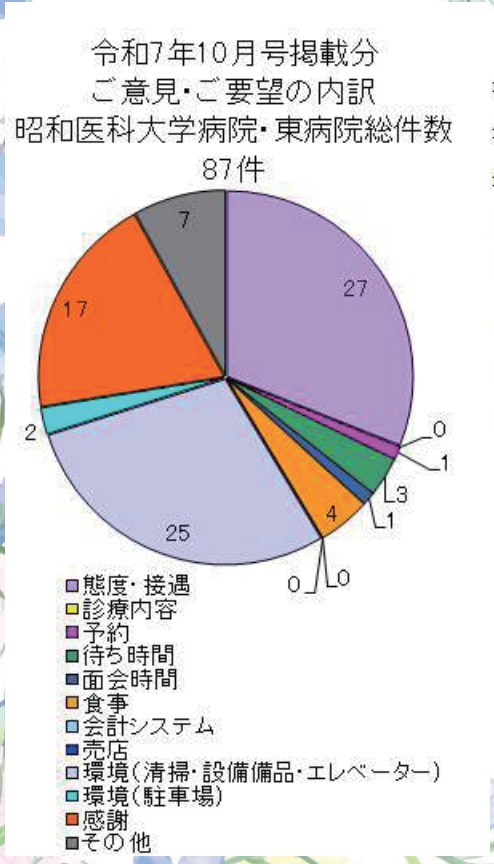
適切なリハビリテーションの提供をした。

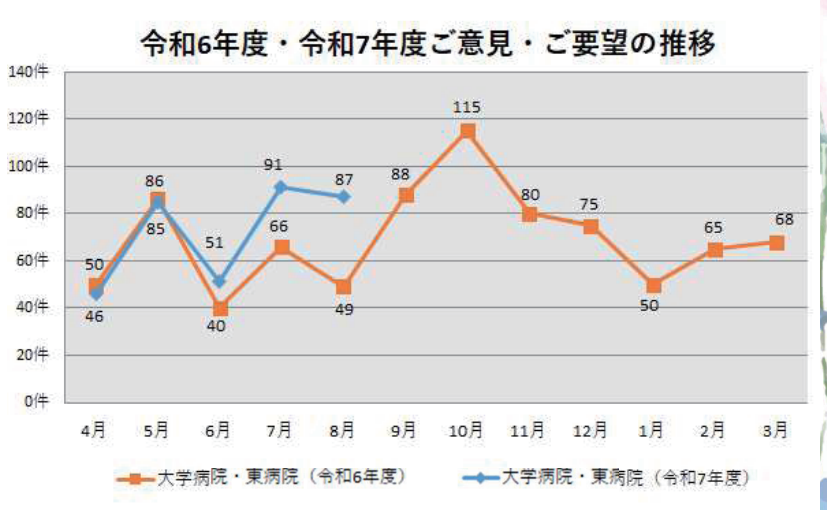


日頃よりチーム医療にご協力いただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

患者さんのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答	回答部署
リハビリのおかげで体がどんどん動けるようになり、前向きになれました。いつも優しくお話をしてくださりすごく嬉しかったです。	この度は温かいお言葉をいただき、誠にありがとうございます。リハビリを通じてお身体の動きが改善し、前向きなお気持ちになられたとのこと、大変うれしく思います。私たちは今後も、わかりやすく丁寧な説明と安心して取り組んでいただける雰囲気づくりを大切にし、１人１人に寄り添ったリハビリを心掛けております。	リハビリテーション室
靴ベラを用意して欲しい。	この度は、院内に靴べらのご用意がなく、ご不便をおかけしたこと、誠に申し訳ございません。いただきましたご意見を受け、患者さんに快適にお過ごしいただけるよう、当院では今後、各一般病棟に患者さん貸出し用の靴ベラをご用意いたします。現在準備を進めており、８月中には各病棟に配布を完了し、ご使用いただける状態にする予定でございます。ご使用の際はスタッフにお声かけください。貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後とも患者さんにとってより良い環境を整えてまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。	管理課





トピック　正面玄関飾り付けの予告

昭和医科大学富士吉田キャンパスの自然教育園で育ったカボチャを今年も正面玄関に飾る予定です。

ハロウィンに合わせ、ジャックオーランタンが、正面玄関にてご来院の皆様をお出迎えいたします。

ご来院の際にはぜひご覧ください。

編集後記　薬剤部　新井（あらい）　千恵（ちえ）

10月になり、猛暑からやっと解放されましたね。

10 月はハロウィンのイベントがありますが、装飾として欠かせないかぼちゃには大きく分類して西洋かぼちゃ、日本かぼちゃ、ペポかぼちゃがあります。抗酸化作用があるビタミン A·C·E が豊富ですが、種類により栄養価に差があるそうです。西洋かぼちゃは特にβ-カロテンが日本かぼちゃの 5 倍以上、ビタミンＣは２倍以上だそうです。

季節の変わり目は体調を崩しやすいですので、適度に体を動かして無理せず健康管理にも注意していきましょう。

昭和医科大学病院・附属東病院の理念	昭和医科大学病院・附属東病院の基本方針
・患者本位の医療 ・高度医療の推進 ・医療人の育成	・患者さんと共にチーム医療を実践する。 ・特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。 ・教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。 ・人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆さまが読みやすいよう工夫をしております。

黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し：医療関係者向け

緑色見出し：医師の配属・異動・退職について

病院広報委員会委員：新井 千恵、大江 克憲、岡崎 靖子、志賀 麻美、鷲見 賢司、富田 英、蜂須賀 綾香、林 直輝、本寺 哲一、村上 秀友、山岸 昌一、山下 剛史、吉田 仁、與那覇 香苗、渡邊 聡（50 音順）